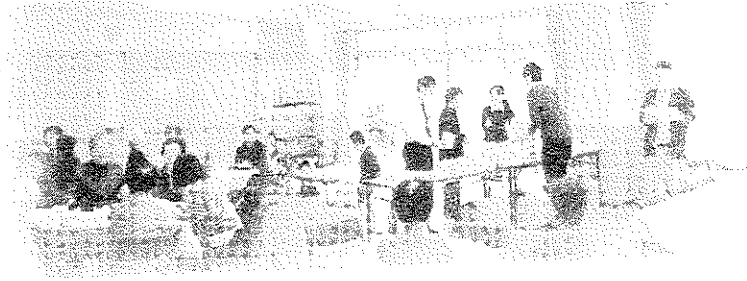


# 福岡市城南区金山公民館 コミュニティカフェを研修して



12月20日ひまわり会食会を開催致しました。当日の天候が一番気になりましたが、多勢の皆さんが参加して下さいました。ボランティア日輪から引継ぎ、女性の会・食改・民生委員・自治会長さんの協力を得てひまわり会食会が開催される事になりました。73才以上の独居老人の方、または御夫婦の方、昼間一人になられる方を対象としています。今は、自治会長さんが、各町区の出欠を取ってもらい、山田公民館長さんが、取りまとめ下さいますので、料理を作る側も無駄なく出来て本当に感謝です。出席された皆さんが、喜んで下さっている笑顔を見る

とお世話する私達も元気ももらいます。昨年の12月2日福岡市城南区金山公民館にコミュニティカフェの見学に行ってきました。金山校区は坂道の多い住宅街でした。福岡市の高齢化は20%に対し、金山地区は30%ですが、介護の比率は福岡市は30%に比



女性の会 会長 馬場桂子

べ、金山地区は20%と元気な高齢者が多いのは坂道のせいなのか？高齢化が進む中、地域に必要なものは、何があったら楽しいか、地域の人同士で考え、参加し試しながら少しずつ前進、高齢化社会の中で多世代での交流や事業のアイデアを考える。アイデアを試す「おためしカフェ」を公民館で開催平成26年中に6回の開催、時間は10時～15時迄提供内容はドリンク・お菓子・乳幼児の遊びスペース・保健師による健康相談・男性ボランティアによる車の送迎・スタンプカードの発行・軽食もあります。当日はカフェの日でした。高齢者とスタッフ80名程でしょうか、人の集まる所には笑顔があります。佐賀市の社協でも町区でのカフェの取り組みを考えられています。近くで皆が集まれる場所作りが出来れば、地域が明るく元気になる事と思われま

## 六座町音楽サロンカフェ

六座町では、これまで「ひなまつり茶会」「青葉茶会」「七夕茶会」など住民が茶道具を持ち寄って、楽しい・美味しい交流の場をつくってきました。現在は、少し形を変えたカフェを開いています。毎月一回開催している、「音楽サロン」終了後にコーヒータイムを設けて、参加者相互の交流をしています。お世話係は、鍋一杯に張ったお湯に缶コーヒーを温めておきます。サロン参加者二十五名は九十分間しっかり歌ったり、合奏したり、運動します。

終了後、温められた缶コーヒーが配られます。音楽サロンカフェの始まりです。家族や孫のこと、薬の話、社会情勢等々話題は次々に広がっていきます。一本の缶コーヒーが参加者相互の心を和らげ、仲間の輪を広げ、生き甲斐を引き出す魔法の飲み物になるのです。わずか三十分程度のカフェタイムですが、参加者は心も体も温まって、次回のサロンを楽しみに帰路につきます。

(文責 牟田口朝子)

# 日新福祉だより

日新校区社会福祉協議会  
会長 江口 康 昭  
所在地 佐賀市長瀬町1-20  
TEL (0952)26-9216

## 福岡県弥永校区 社会福祉協議会を訪ねて

◎弥永公民館研修室



◎研修を終え、玄関にて

平成28年11月30日(水)に今後 高齢者のためにいかに取り組むかを考え、市社会福祉協議会に相談したところ、参考になると思う・・・と、弥永校区を紹介して頂きました。

社協のバスを利用し、研修計画通り実施出来ました。総勢17名、午後からの研修だったので休憩と昼食を済ませて、弥永校区公民館におじゃましました。認知症の人やその家族も含め安心して暮らせるまちづくりの手立てとして、「ほほえみカフェ」弥永校区の取り組みについて説明がありました。組織は平成19年に設立。自治会協議会は19団体の地域を代表する組織である。校区社会福祉協議会は、その中でも大きい組織である。弥永校区は人口6,224人、高齢化率33.1%(2059人)である。我々の所と比較したら、(日新校区9,500人で高齢化率は26.1%)で、高齢化が

進んでいるが、45%の所もあると聞き驚きました。市営団地と1戸建てと半々だそうです。校区の課題と目標では高齢者支援が身近な問題となり認知症高齢者に関する問題が増えているとの事。認知症の人と家族も含め安心して暮らせる校区の見守りが目標だそうです。

- ◆取り組み① 校区社協役員会の定例化 話し合いの実施
- ◆取り組み② 校区全体の研修会年間(2回)認知症サポーター養成講座(年間2回実施)
- ◆取り組み③ 小・中学校での認知症サポーター養成講座
- ◆取り組み④ ほほえみカフェでは、町の方々の協力を得て、パン屋さんの休みを利用し、高齢者を

楽しませる。年間3回実施。既存スーパーではなかなか出てこない方への配慮で実施している。毎回100名程度参加。

日新校区で行っている、ひまわり会食・しめ縄づくり・女性の会の親睦旅行等、私達もそれなりに実施していますが、高齢化が進む中、認知症対策には今後は検討する時期にきていると思います。

弥永校区の支援体制対応を参考にして、町区に適したマニュアルを作成することが大切だと思います。そしてそれを現場でどのように実行するかが、今後の課題であると感じました。

日新社協 会長 江口康昭

# 福祉は「お互いさま」の意識を持って…

福祉事業の強化・促進を図るため、10月6日～7日に実施された佐賀市校区社協の先進地区社協視察研修に参加しました。

最初の視察先は、梅やハーブなど特色ある農産物を広く生産して「一村一品運動」で有名になった大分県大山町にある「おすそわけ野菜のレストラン松原」というお店です。

ここは過疎化の進む地域の高齢者が作った自家用野菜や果物を「がめ煮」や「野菜かき揚げ」などに調理して提供するレストランで、この地区の心を満たす場所として開いたコミュニティカフェ「まめろし」や、カフェ閉店後に開く「子ども食堂」もあり、何れも賄いは近所のおばちゃんや子育てママ達です。高齢者も子供も、気軽に集える新たな居場所づくりに取り組んでいる、経営者の熱き想いが込められたコミュニティ拠点でした。



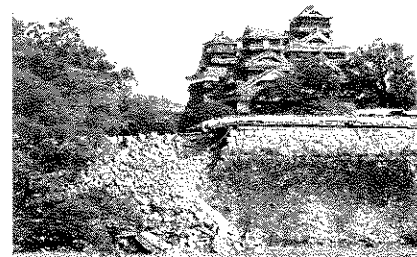
次は、津久見市社会福祉協議会の視察でした。ここでは少子高齢化、過疎化等で地域力が低下している中、福祉施設やサービスの整備だけでは限界があることから、身近な範囲での見守りや支え合いを実施し、また、他校区との話し合いを深めることで地域の活動がより活発になるようにと、「向こう三軒両隣の見守りネットワークづくり」を実施しています。

何と40.2%もあります。このような超高齢化社会の進行による地域の弱まりを見据え、31会ある地区自治会の中に、「地区社協」という福祉部会的な組織を作り、それぞれの会で話し、「お互いさま」の意識を持って「見守り・支え合い」を行っているそうです。近い将来、必ず到来する超高齢化社会の地域のあり方を学びました。

津久見市は人口1万8千人余りの市で、65歳以上の高齢者は7千5百人、高齢化率は



最後に、復興真っ最中の熊本城ガイドボランティアの状況を見学し、早急な復興を願いながら帰路に就きました。



復旧が待たれる熊本城

日新社協 会計 西岡久邦



「レストラン松原」「まめろし」の運営リーダー 川津奈津子さん

「レストラン松原」のおすそわけ野菜定食

# 民生・児童委員の役員紹介

任期は平成28年12月1日から平成31年11月30日までの3年間です。このメンバーで活動しますので、校区の皆様よろしくお願ひします。



No.	役 職	氏 名	No.	役 職	氏 名
1	川原小路	角田 茂子	14	末広2丁目	高取千恵子
2	精 町	宇野 末子	15	六座町	柴田 暢子
3	西魚町	熊岡 典子	16	三本谷	納富 和代
4	西田代1	小田 智子	17	中折下(北)	岡 寛子
5	西田代2	城戸 郁子	18	中折下(南)	片瀬 初美
6	伊勢屋本町・点合町	松尾 妙子	19	八戸町	欠員
7	伊勢屋町・岸川町	小森 恵子	20	中折町	西村由利子
8	多布施3丁目(1)	宮崎祥二郎	21	京土井	坂井 克宏
9	多布施3丁目(2)	中島 文代	22	八戸南	円田由紀子
10	長瀬町	中原 民子	23	下田・八戸団地	金丸千早子
11	道祖元町	古賀 好野	24	主任児童委員	吉永 美紀
12	末広東	久保 弘子	25	主任児童委員	小島 京子
13	末広西	川副 幸代			